

平成10年度

生活習慣病総合検診を受けましょう



市では、「生活習慣病総合検診」を実施します。

この機会に年に一度検診を受け、自分の健康について考えてみませんか。

生活習慣病ってなに？

がん・脳卒中・心臓病などの病気は、成人病と呼ばれていました。

成人病は四十歳前後から急に発病率が高くなり、

四十歳から六十歳の働き盛りに多い、全死因の高位を占める病気の総称です。

つまり、加齢が関係していることと

死因の高位を占めることを問題とした病気を指しています。

しかし、病気の発病には加齢だけでなく生活習慣の影響が大きいこと、

直接の死因とならなくとも、人々の「生活の質」の低下に大きく影響する病気が少なくないことから、新しい病気の考え方が必要となってきました。

そのために、生活習慣病という名称が生まれ、

都留市でも「成人病」から「生活習慣病」に名称を変更しました。

なぜ、健診を受ける必要があるの？

どんな病気でも初期の段階では治りが早いのです。

病気の早期発見・早期治療につながります。

健康に関する認識が深まり、普段の生活を振り返るきっかけづくりになり、さらには家族の健康への関心が高まります。

若い頃からの受診が、すこやかな老後につながります。